

福岡県福津市は、玄界灘に面して岩礁や白砂青松の海岸線が続く、風光明媚な町である。江戸時代から昭和初期までは塩田が拓かれ、塩づくりがおこなわれていた。現在は沿岸漁業中心で、釣り場としても有名な津屋崎漁港は、かつて塩の積出港として大いに栄えた。

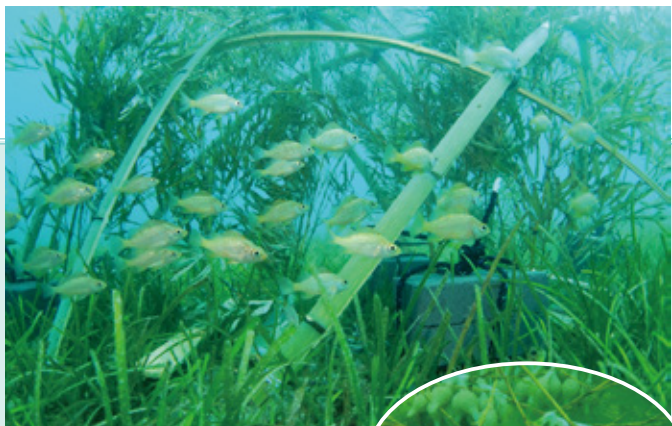
その津屋崎漁港に隣接し、三方を海に囲まれた福岡県立水産高等学校（福津市津屋崎町）は、福岡県唯一の水産高校だ。同校アクアライフ科の生徒を中心にした「豊かな海づくり」プロジェクトは、昔の海や水産資源の再生を目的に、竹林整備や竹の有効利用に取り組むグループである。

「漁協や漁師の方々と交流して実習などでお世話になっていたので、何か恩返しをできないかと授業で話したのがきっかけでした。豊かな海をつくるためにどうしたらいいかを話し合い、森林の減少が2008年洞爺湖サミットの議題の一つになっていったこともあって、沿岸の森づくりで海を豊かにしていこうと考えました」と、2010年の発足以来プロジェクトを指導してきた大山欣丈教諭は振り返る。

プロジェクトの「T」とは「竹」のことで、生徒たちは、森林破壊の原因の竹炭のおにぎりや、海をきれいにし、水産資源を再生する効果があるものを優先してきました。塩の生産で潤っていた町独特のものとして、竹の枝葉を利用した塩の生産にも取り組んでいます。竹林は整備を止めたらすぐに荒れてしまいますので、長く継続していこうと、先輩から後輩へと引き継いできました（大山教諭）

竹林の整備や鉄くずと竹炭のおにぎり、メバル、マアジ、フグやハゼ類などが回遊を始め、イカの産卵が確認された。竹魚礁による効果だと証明はされていないものの、産卵が確認された3年後、アオリイカとコウイカの漁獲量の増加がみられたが、因果関係ははっきりしない。一方、竹林整備では、竹林全体が明るくなり、下草が生えて広葉樹の苗が育ち、生物の多様性につながっている。この活動は注目され、2018年の生物多様性アクション大賞でセブン・イレブ

ン大賞でセブン・イレブ



竹魚礁を縫うようにメバルが回遊している



竹枝の下にイカが産卵した



船で沖へ乗り出し、竹魚礁を海底に設置する



切り出した竹でつくった魚礁。吊した竹短冊には「海が豊かになりますように」と一同の願いが書いてある



数センチに育ったアワビの稚貝を放流する



ウニの食害は地元漁業にとって深刻。駆除したウニの活用方法を探る



学校は三方を海に囲まれている



竹を使ったやぐらで塩づくりにも挑戦

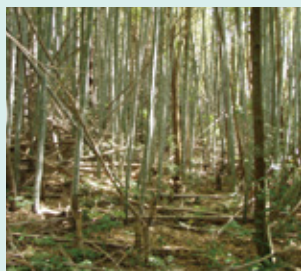


整備された竹林では広葉樹の成長がみられた

## 福岡県立水産高等学校 水産高校生が 竹林で活動する理由



大量の竹を切り出す。竹資源の活用にはさまざまなアイデアが生まれた



原生林に入り込む竹

つである竹林に注目した。福津市西端の渡半島にある大峰山は、山全体が玄海国立公園に指定されている自然豊かな場所だが、近年は竹林が生い茂り、広葉樹の原生林を脅かしていた。豊かな海をつくるには健康な森が必要だ。森に雨が降ると、腐葉土に含まれるフルボ酸などが流れ出し、やがては海の養分になるからである。

生徒たちはまず、成長が早く、ほかの木々を脅かして森林の機能を妨げる竹林の整備に着手した。すると膨大な量の竹が切り出されたため、漁師さんたちから聞いていた海の問題に対して竹を活用する研究も始めた。漁業が抱える問題とは、沿岸海域で海藻が減少する「磯焼け」やウニの食害、漁獲量の不安定さなどだ。そこで、切り出した竹で魚たちの繁殖や生活の場をつくる「竹魚礁」や、竹炭と鉄くずを練った「鉄くずと竹炭のおにぎり」を海中に沈め、直接的に栄養分を補うアイデアなどを考案した。

「竹を粉状にして発酵させ、農業の土壌改良材にする竹パウダーや、竹テント、コップといった竹製品をつくるアイデアが、活動開始の初年度には次々と生まれました。ずっと継続しているのは、竹林の整備と竹魚礁の作成と設置、鉄くずと」

ン記念財団賞を受賞した。

「生徒たちは今回の受賞をとっても喜び、励みにしています。小学生と一緒に竹魚礁をつくる授業をしたり、企業と連携した取り組みや環境フォーラムへの参加など、啓発活動にも力を入れていきます。もともと海や魚が好きで水産高校を選んだ生徒が、雨の日や真夏の暑い日も山に入り、重たい竹を刈って運び出す活動をしてきました。海が好きなのに山で活動するのはどういうことなのか、海と森、社会や地球環境の関わりを意識しながらプロジェクトに取り組んできました。発足から10年経ち、生徒の進路はさまざまです。研究を深めたいと、大学に進んだ者もいます」（大山教諭）

市の西側がすべて海岸線という福津市には、希少生物が生息し、世界で数百羽しかないクロツラヘラサギが越冬で飛来する津屋崎干潟や、アカウミガメが産卵に訪れる砂浜がある。竹林の浸食や海の問題を放っておけば、多様な生きものを育んできた自然がなくなってしまう。本来の豊かな海を伝えるにはどうしたらよいか、海と魚が大好きな生徒たちの関心は大きく広がっている。

